

けやき大通り地元説明会での主な意見

(概要)

開催日時：1月16・17日(大新地区対象)

1月18日(けやき大通り商店街、和歌山駅前通商店振興組合対象)

参加人数：のべ約60人

■現状について

- 今のままでも十分広く整備する必要は無い
- けやき並木は、この通りの財産であり、切るべきでない
- 側道の駐車は通勤で利用している人がおり、沿道利用に支障をきたしている
- けやきは、落ち葉とムクドリが問題
- 駅前の整備済区間と今回の検討区間では、車線数が変わるので利用しにくい

■現状の改善について

- 通りの横断距離が長い問題は、中央分離帯に歩行者が溜まれる場所を作ればよい
- 側道が原因の事故の問題は、汀丁交差点のように信号システムを改善すればよい
- 交差点の安全対策の問題は、本線と側道の分離帯のつつじが、視界を遮っているため、そのつつじを取ればよい

■整備案について

- 右折レーンやバスベイの設置のために、けやきを切ってしまうのは問題である
- 樹種は、けやきでなくても良いのではないかと、花が咲く木、紅葉する木(楓)等集客効果のある街路樹ではどうか
- 朝市等をずっとやることで集客できる。歩道を整備するか、側道をイベントの際に歩行者天国にすればよいのでは
- 歩道を広げた場合、歩道を横切る車(の走行距離)が増えて、人身事故が増加するのではないか
- 歩行者が安全に歩ける状況ではない、自転車との事故は発生している
歩行者と自転車を完全に分離した方がよい
- 歩道にけやきを移設するのはムクドリの問題もあり現実的でない
- 側道を廃止することでバスの走行性が落ちる
- 安全対策と通りの活性化をわけて考えればよい
- 駅前の整備区間と同様の形で和歌山城まで整備すればよい
側道を廃止し、けやきを撤去したことで、事故の問題とムクドリの問題が解消
- 長期的な視点で検討して欲しい

■その他

- 財政が厳しい中で、この通りを整備する必要はない
- 市民と協力して維持管理等すればよい